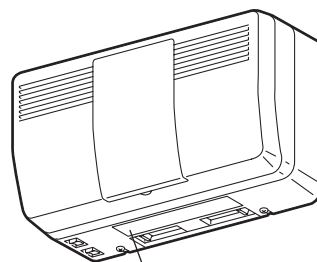
1011873HC7906

DAIKEN

24時間換気システム〈エアスマート〉専用部材
同時給排型換気扇　DKファン

形　名

SB0808-K01（08タイプ）
SB0808-K02（08タイプ・ベージュ）
SB0810-K01（10タイプ）
SB0810-K02（10タイプ・ベージュ）
SB0812-K01（12タイプ）
SB0812-K02（12タイプ・ベージュ）

形名表示位置

取扱説明書　お客さま用

この製品は24時間換気システムとしてご使用いただけます。

お客さま自身では取付けないでください。
（安全や機能の確保ができません）

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
  なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

もくじ

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

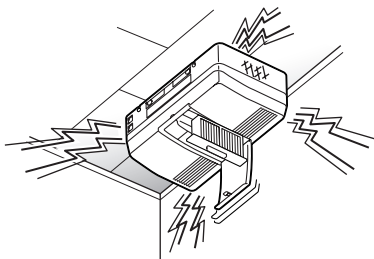
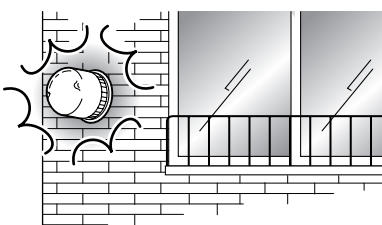
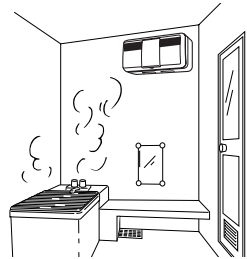
⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- **可燃性ガスが漏れた場合はスイッチを入・切しない**
  （電気接点の火花により爆発する原因になります）
  窓を開けて換気してください

- **改造や工具を必要とする分解はしない**
  （火災・感電・けがの原因となります）

- **製品を水につけたり、水をかけたりしない**
  （火災や感電のおそれがあります）

- **浴室など湿気の多いところでは使用しない**
  （感電および故障の原因になります）

- **交流100Vを使用する**
  （直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります）
- **お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源スイッチを切る**
  （通電状態では感電やけがをすることがあります）
- **異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切る**
  （異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります）
  〈異常・故障例〉
  「愛情点検」を参照ください。
- **外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する**
  （新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります）

安全のために必ず守ること　つづき

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁　止

- **24時間運転のためメンテナンス、長期不在時以外は電源を切らない**
  （換気不足による健康障害が生じるおそれがあります）
- **風が直接あたるところに燃焼機器を置かない**
  （不完全燃焼による事故の原因になることがあります）
- **高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しない**
  （火災のおそれがあります）
- **本体に異常な振動が発生した場合は使用しない**
  （本体、部品の落下によるけがの原因になります）

接触禁止

- **運転中は、本体内部で羽根が回っているため、指や物を入れない**
  （けがをすることがあります）

指示に従い必ず行う

- **お手入れの際は手袋を着用する**
  （着用しないとけがをすることがあります）
- **お手入れ後の部品の取付けは確実に行う**
  （落下によりけがをすることがあります）
- **長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**
  （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）
- **電気工事は必ず電気工事店に依頼する**
  （間違った電気工事は感電のおそれがあります）

使用のお願い

■この製品は、お部屋の汚れた空気を排出（排気）するとともに、外気をきれいにして室内へ取り入れ（給気）ます。
また、24時間換気用のため、異常時、メンテナンス時等以外は電源スイッチを「入」でご使用ください。

■ご使用の前に取付け状態を確認してください。

天井に取付けられていないか

壁取付け専用タイプのため、落下することがあります。

外壁には室外フードが取付けられているか

風雨の浸入により故障の原因になります。

浴室（温泉）に取付けられていないか

浴室（温泉）など湿気の多いところでは使用しない
腐食（落下）、漏電（感電）および故障の原因になります。

■使用時には次のことをしないでください。

製品のまわりに物を置かない

風の吹出口・吸込口がふさがれたり、お手入れができなくなります。

スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用）を直接かけない

パネルが変質、破損する原因になります。

パネルをふさがない

十分な換気ができません。

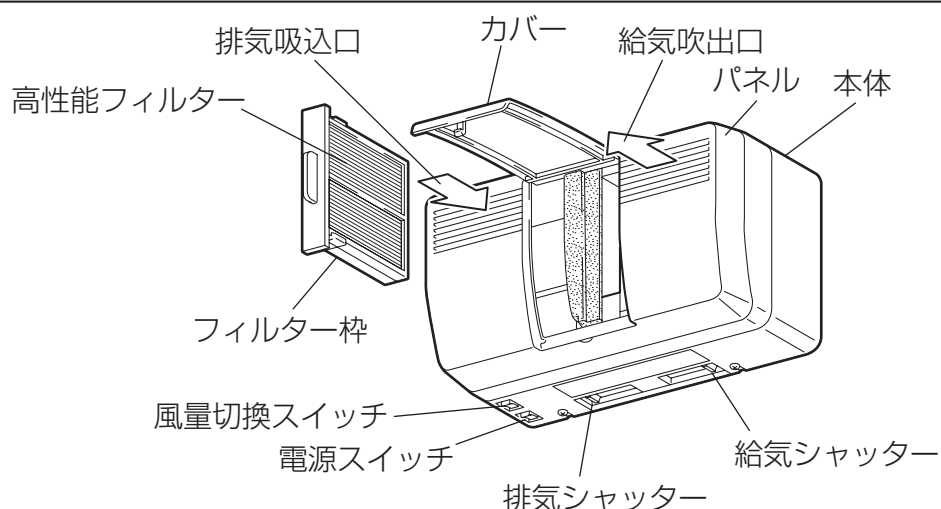
使用のお願い　つづき

■冬期など外気温度が約－5℃より低下した場合（室外温度－5℃以下、室内温度20℃、室内相対湿度50％以上）には、室内空気中の水分が結露や凍結して製品本体（吹出口周辺、フィルター枠等）から水が滴下する場合があります。
（結露や凍結については、種々の微妙な条件（室内の湿気・空気の流れ等）により発生状態が異なります。）
結露した場合は必ず分電盤のブレーカーを切ってから水を拭き取ってください。

■キリの多い時期（霧雨や濃霧が長時間続くとき）は一時的に電源スイッチを「切」にし、シャッターを閉じてください。

■外風が強いときはシャッターを閉める
台風など外風が強いときは、排気・給気シャッターを閉めて電源スイッチを「切」にし運転を停止してください。
●シャッターつまみを押さえながら動かしてください。
●シャッターを閉めずに運転を停止すると、虫侵入、結露の原因となります。

■市販の壁スイッチを併用する場合は4ページの「運転のしかた」に従い、本体スイッチを設定してください。(電源スイッチを「入」にして風量切換スイッチで風量を設定する)

各部のなまえ

※本製品は排気用ファン、給気用ファンがそれぞれ内蔵されています。

使用前の準備

■電源を入れる

1．分電盤のブレーカーを入れる。

運転のしかた

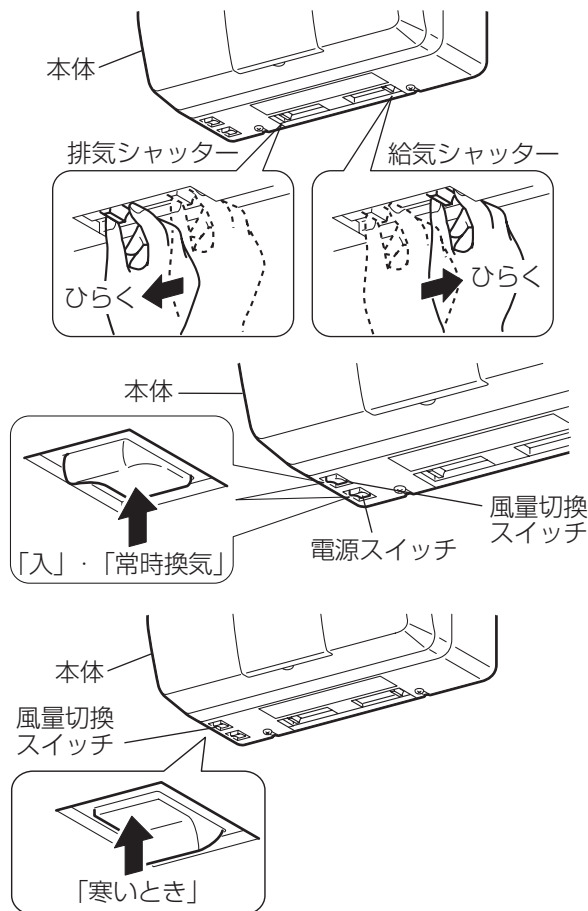
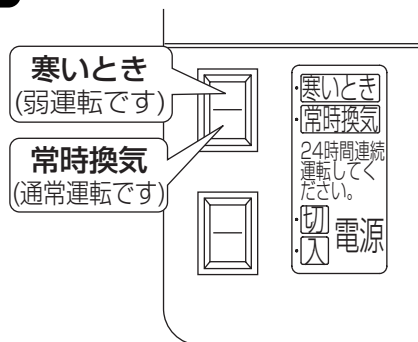
運転する

1. 給気・排気シャッターを「ひらく」の位置にする
2. 電源スイッチを「入」にする
3. 風量切換スイッチを「常時換気」にする

停止する

1. 電源スイッチを「切」にする
   ・この製品は24時間換気用です。電源スイッチはメンテナンス等以外は常に「入」にしてください。
   ・停止する場合は、給気・排気シャッターを「とじる」の位置にしてください。
   （虫侵入、結露の原因になります）

外気の侵入が気になるとき

●冬期に冷風感が気になるときは、風量切換スイッチを「寒いとき」にすることにより冷風感が軽減できます。

お手入れのしかた

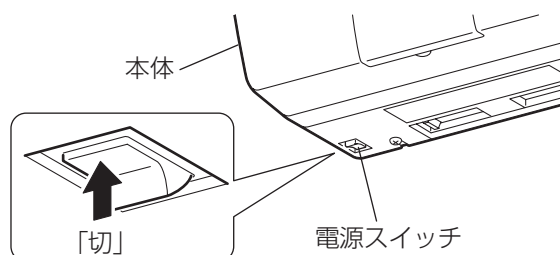
換気扇の機能を長く維持していただくために、高性能フィルターに付着したごみ、ほこりを**2か月に1回以上**清掃してください。

●お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。
●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源スイッチを切る
(通電状態では感電やけがをすることがあります)

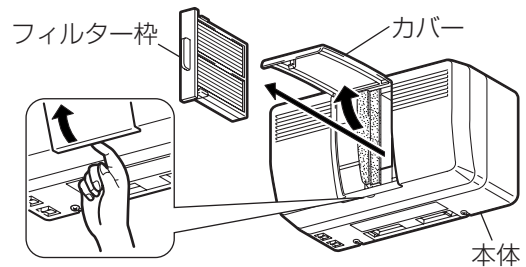
⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
(着用しないとけがをすることがあります)

高性能フィルターの取出しと清掃

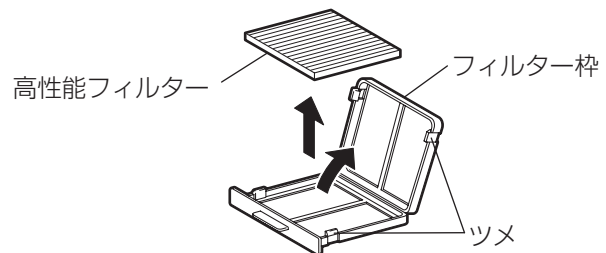
1. 電源を切る
   電源スイッチを「切」にする。

2．フィルター枠を本体からはずす

1．カバーをあける。
　カバー下部に指を引掛け上側に開く。
　カバーは開いた状態で仮固定できます。
　無理な力で上に押さないでください。
　（カバー、パネルが破損します）

2．フィルター枠をはずす。

※フィルター枠をはずすときにほこり、虫などが落ちる場合があります。

3．高性能フィルターをフィルター枠からはずす

1．2か所のツメ部分を開ける。

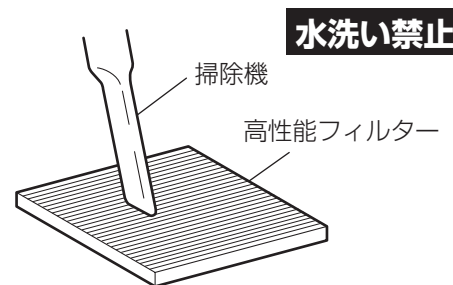
2．高性能フィルターを取り出す。

4．高性能フィルターの清掃または交換

●高性能フィルターの清掃

掃除機でほこりを吸い取る。
※水洗いはおやめください。

●高性能フィルターの交換

1年を目安に交換する。
※別売フィルターは以下のいずれかをお求めください。
　大建工業品番：SB0899-K11
　　(工事店さまにお問合わせください)
　三菱電機品番：P-06JHF
　　(お近くの電気店または三菱ストアにお問い合わせください)

水洗い禁止

5．お手入れ後の組立てと確認

1．高性能フィルターに貼り付けてある銘板に使用開始年月日を記入する。

2．高性能フィルターをフィルター枠に納める。

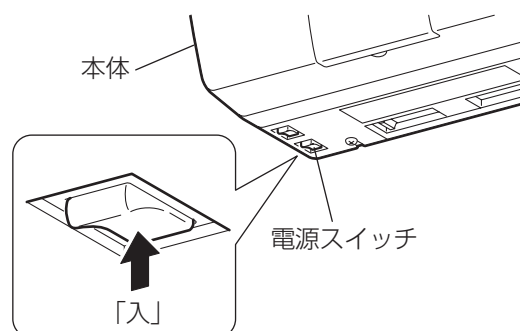
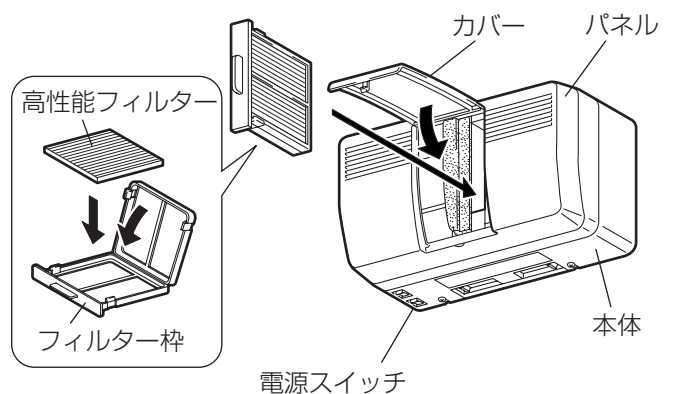
3．カバーを開ける。

4．フィルター枠を取付ける。

5．カバーを閉じる。
　●高性能フィルター、フィルター枠、カバーは確実に取付けしてください。
　（虫侵入、結露の原因になります）

6．分電盤のブレーカーを入れ、電源スイッチを入れる。

7．組立てが終わりましたら、次の確認をする。
　（1）異常な音が出ていませんか？
　（2）風は正常に出ていますか？
　※必ず運転をして確認してください。

⚠注意

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
(落下によりけがをすることがあります)

お手入れのしかた　つづき

パネル・本体の清掃のしかた

● パネル・本体が汚れてきたら、中性洗剤を入れたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固くしぼって拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取る。

お願い

● お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤 (変質・変色する原因になります)

「故障かな？」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切って、工事店にお申しつけください。費用については工事店とご相談ください。

こんなとき	原　　因	点検します
運転しない	本体へ通電されていますか？	●ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
音がする　いつもと違う音がする	高性能フィルターがしっかり取付けられていますか？	取付け直します 5ページ
	高性能フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します 5ページ
	シャッターが閉じていませんか？	シャッターを開くか、運転を停止してください
風が出ない 風が少ない	高性能フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します 5ページ
	シャッターが開いていますか？	シャッターを開きます 4ページ
虫が侵入する	高性能フィルターは枠にキチンとセットされていますか？	枠にキチンとセットする (小さな虫が侵入する場合があります)
給気が寒く感じる	外気温が低下していませんか？	風量切換スイッチを「寒いとき(弱運転)」にする
本体に結露する (水滴がたれる)	外気温が低下していませんか？	運転を停止してシャッターを閉じ、水滴を拭き取る (分電盤のブレーカーを切ってから水を拭き取ってください)

● モーターの軸受は回転がなじんで時間が経つにつれ、音が変化することがありますが、異常ではありません。

アフターサービス

DAIKEN24時間換気システム〈エアスマート〉専用部材のアフターサービスは、工事店かお近くの大建工業各営業所にご連絡ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの同時給排型換気扇の補修用性能部品を製造打切後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　名	電圧（V）	ノッチ	周波数（HZ）	消費電力（W）	風量（m^3/h） 給気	風量（m^3/h） 排気	換気風量（m^3/h）	有効換気量（m^3/h）	騒音（dB）	質量（kg）
SB0808-K01 (08タイプ)	100	※常時換気	50	4.8	18	18	18	17	22	2.9
			60	4.9	20	20	20	19	24.5	
SB0808-K02 (08タイプ・ベージュ)		※寒いとき	50	3.0	14	14	14	13	17	
			60	2.9	15	15	15	14	18	
SB0810-K01 (10タイプ)		※常時換気	50	5.8	23	23	23	21.5	26.5	
			60	6.1	23.5	23.5	23.5	22	27	
SB0810-K02 (10タイプ・ベージュ)		※寒いとき	50	3.1	14	14	14	13	17	
			60	3.3	14	14	14	13	17	
SB0812-K01 (12タイプ)		※常時換気	50	6.2	27.5	27.5	27.5	26	29	
			60	6.5	29	29	29	27.5	29.5	
SB0812-K02 (12タイプ・ベージュ)		※寒いとき	50	3.4	17	17	17	16	19.5	
			60	3.7	17	17	17	16	19.5	

●特性はJIS C 9603に基づく。騒音値は無響室における測定値です。
●有効換気量はJIS B 8628（減衰法による測定）に基づく。
　1穴用フード（SB0899-K01）および専用パイプを組み合わせた場合の値です。
　1穴用防火ダンパー付フード（SB0899-K05）および専用パイプを組み合わせた場合は約10%低下します。
●風量（排気・給気）、換気風量は1穴用フード（SB0899-K01）と組み合わせたときの風量です。

※常時換気・・・通常運転です。換気回数0.5回/h(注1)に設定しています。
※寒いとき・・・弱運転です。換気回数0.3回/h(注1)に設定しています。
(注1)一般住宅　8畳：08タイプ(床面積13.2m^2×天井高2.5m=33m^3)
　　　　　　　10畳：10タイプ(床面積16.5m^2×天井高2.5m=41.25m^3)
　　　　　　　12畳：12タイプ(床面積19.8m^2×天井高2.5m=49.5m^3)　における
換気回数0.5回/h(08タイプ：33m^3×0.5=16.5m^3/h・10タイプ：41.25m^3×0.5=20.75m^3/h・12タイプ：49.5m^3× 0.5=24.75m^3/h)、換気回数0.3回/h(08タイプ：9.9m^3/h・10タイプ：12.38m^3/h・12タイプ：14.85m^3/h)とした場合の換気風量を満足するように設定した目安です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921 -2 による

環境条件	電　圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書の「**仕様**」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a) 台　所　2410時間/年 居　室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴　室　1671時間/年	
注 a) 24時間換気のものは、8760時間/年とする。			

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（左表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921 －2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 （モーターはメンテナンスが必要な部品です） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食・破損等がある。

使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は工事店にご相談ください。

保証書

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買上げの日から下記の期間中に故障した場合には、工事店にご依頼ください。
無料修理をさせていただきます。

●本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちに工事店にお申し出ください。
●本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
　Effective only in Japan.

形名		保証期間 (お買い上げ日より)	本体1年間
※お客様	お名前 様	お買い上げ日	年　月　日
		※工事店名 販社名	
	ご住所　〒 電話　(　)	工事店名 ※住所 店名	印 または サイン 電話　(　)

<無料修理規程>

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、工事店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご贈答品等で本書に記載してある工事店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載の大建工業各営業所へご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
（ニ）本書にご愛用者名、お買上げ日、工事店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
（ホ）一般用以外（車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

◎この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、工事店または大建工業各営業所にご相談ください。
◎保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては6ページをご覧ください。

お客さま メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形名	
	お買い上げ年月日	年　月　日
	工事店名 (住所) (電話番号)	(　)

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略語を使用）

本社：〒530-8210　大阪市北区堂島1丁目6番20号　堂島アバンザ22F

お問い合わせ
建築音響部　サウンドセンター
（東京）電話（03）6271-7785　（岡山）電話（086）262-0198